

北陸自動車道 親不知トンネル受配電自家発電設備更新工事

交付図書正誤表

東日本高速道路株式会社
新潟支社

正誤表 (1)

工事名) 北陸自動車道 親不知トンネル受配電自家発電設備更新工事

対象	誤	正	備考
<p>特記仕様書 (45 頁)</p>	<p>・監視情報：状態時伝送、要求時伝送(TCP方式とする) ・計測情報：定周期伝送、要求時伝送(TCP方式とする) ・制御情報：制御時伝送(TCP方式とする) ・診断情報：定周期伝送(TCP方式とする)</p> <p>(c) 対向方式 監視・制御・計測 (1 : 1) N N : 子局数</p> <p>(d) 伝送速度 100Mbps</p> <p>(e) 伝送容量 伝送容量(情報フィールド部の容量)は次の通りとする。 ・監視・計測 1 フレームあたり最大 254 オクテット ・制御 1 フレームあたり最大 16 オクテット</p> <p>(f) 誤り検出方式 CRC 生成多項式</p> <p>(g) 同期方式 フラグ同期方式</p> <p>(h) 挙動方式 制御情報伝送は 1 挙動方式とする。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px;"> <p>(2) 伝送処理機能</p> <p>(a) 回線雑音監視機能 IP 通信に使用している回線の回線雑音を常時監視するものとする。</p> <p>(b) 回線雑音自動追従機能 IP 通信に使用している回線の時系列に変動する回線雑音に対し、通信エラーによる通信断の発生を最小化するものとする。</p> <p>(c) 回線雑音自動回復機能 IP 通信に使用している回線の回線雑音回復した後、自動的に出力設定を戻す機能を有する。</p> </div> <p>(3) RAS 機能</p> <p>(a) フェールセーフ処理 自装置の異常を検知した場合、故障信号を外部出力してシステムを安全に停止させるものとする。</p> <p>(b) ヘルスチェック処理 上位の IP 通信処理装置との生存監視のための要求/応答を行うものとする。</p> <p>(4) 現場自動連動判定処理機能 機材仕様書「インテリジェント遠方監視制御装置標準仕様書(その2) 施仕第 17210 号」による。尚、機能項目は別添資料 1 に示す。</p> <p>(5) マクロ制御機能</p>	<p>・監視情報：状態時伝送、要求時伝送(TCP方式とする) ・計測情報：定周期伝送、要求時伝送(TCP方式とする) ・制御情報：制御時伝送(TCP方式とする) ・診断情報：定周期伝送(TCP方式とする)</p> <p>(c) 対向方式 監視・制御・計測 (1 : 1) N N : 子局数</p> <p>(d) 伝送速度 100Mbps</p> <p>(e) 伝送容量 伝送容量(情報フィールド部の容量)は次の通りとする。 ・監視・計測 1 フレームあたり最大 254 オクテット ・制御 1 フレームあたり最大 16 オクテット</p> <p>(f) 誤り検出方式 CRC 生成多項式</p> <p>(g) 同期方式 フラグ同期方式</p> <p>(h) 挙動方式 制御情報伝送は 1 挙動方式とする。</p> <div style="border: 2px solid red; height: 100px; width: 100%;"></div> <p>(2) RAS 機能</p> <p>(a) フェールセーフ処理 自装置の異常を検知した場合、故障信号を外部出力してシステムを安全に停止させるものとする。</p> <p>(b) ヘルスチェック処理 上位の IP 通信処理装置との生存監視のための要求/応答を行うものとする。</p> <p>(3) 現場自動連動判定処理機能 機材仕様書「インテリジェント遠方監視制御装置標準仕様書(その2) 施仕第 17210 号」による。尚、機能項目は別添資料 1 に示す。</p> <p>(4) マクロ制御機能</p>	<p>修正</p>

正誤表 (2)

工事名) 北陸自動車道 親不知トンネル受配電自家発電設備更新工事

対象	誤	正	備考
<p>特記仕様書 (47頁)</p>	<p>100Mbps (e) 伝送容量 伝送容量 (情報フィールド部の容量) は次の通りとする。 ・監視・計測 1 フレームあたり最大 254 オクテット ・制御 1 フレームあたり最大 16 オクテット (f) 誤り検出方式 CRC 生成多項式 (g) 同期方式 フラグ同期方式 (h) 挙動方式 制御情報伝送は 1 挙動方式とする。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>(2) 伝送処理機能 (a) 回線雑音監視機能 IP 通信に使用している回線の回線雑音を常時監視するものとする。 (b) 回線雑音自動追従機能 IP 通信に使用している回線の時系列に変動する回線雑音に対し、通信エラーによる通信断の発生を最小化するものとする。 (c) 回線雑音自動回復機能 IP 通信に使用している回線の回線雑音が回復した後、自動的に出力設定を戻す機能を有する。</p> </div> <p>(3) RAS 機能 (a) フェールセーフ処理 自装置の異常を検知した場合、故障信号を外部出力してシステムを安全に停止させるものとする。 (b) ヘルスチェック処理 上位の IP 通信処理装置との生存監視のための要求/応答を行うものとする。</p> <p>3-9-3 IP モデム IP モデムの仕様は、次のとおりとする。 (1) モデム間インタフェース 伝送速度 : 最大 8Mbps(但し、回線状況による) LAN インタフェース : LAN: 10/100BASE-TX 接点: リセット入力×1/アラーム出力×1 他 (2) 入力電源 : DC48V または DC100V または AC100V (3) 伝送可能距離 : 8km 程度 (但し、回線状況による) (4) 設置個所 (伝送接続側) 市振 TN、親不知 TN、糸魚川 IC、名立谷浜 IC、上越 IC</p> <p>3-9-4 光コンバータ 光コンバータの仕様は、次のとおりとする。</p>	<p>100Mbps (e) 伝送容量 伝送容量 (情報フィールド部の容量) は次の通りとする。 ・監視・計測 1 フレームあたり最大 254 オクテット ・制御 1 フレームあたり最大 16 オクテット (f) 誤り検出方式 CRC 生成多項式 (g) 同期方式 フラグ同期方式 (h) 挙動方式 制御情報伝送は 1 挙動方式とする。</p> <div style="border: 1px solid red; height: 150px; width: 100%;"></div> <p>(2) RAS 機能 (a) フェールセーフ処理 自装置の異常を検知した場合、故障信号を外部出力してシステムを安全に停止させるものとする。 (b) ヘルスチェック処理 上位の IP 通信処理装置との生存監視のための要求/応答を行うものとする。</p> <p>3-9-3 IP モデム IP モデムの仕様は、次のとおりとする。 (1) モデム間インタフェース 伝送速度 : 最大 8Mbps(但し、回線状況による) LAN インタフェース : LAN: 10/100BASE-TX 接点: リセット入力×1/アラーム出力×1 他 (2) 入力電源 : DC48V または DC100V または AC100V (3) 伝送可能距離 : 8km 程度 (但し、回線状況による) (4) 伝送処理機能 (a) 回線雑音監視機能 IP 通信に使用している回線の回線雑音を常時監視するものとする。 (b) 回線雑音自動追従機能</p>	<p>修正</p>

工事名) 北陸自動車道 親不知トンネル受配電自家発電設備更新工事

対象	誤	正	備考
<p>特記仕様書 (48頁)</p>	<p>(1) 光ポート 準拠規格: IEEE802.3u 100BASE-FX 伝送速度: 100Mbps 伝送方式: 全二重方式 適合コネクタ: SC コネクタ 伝送距離: 40km 程度</p> <p>(2) メタルポート 準拠規格: IEEE802.3u 100BASE-TX 伝送速度: 伝送速度: 100Mbps 伝送方式: 全二重方式 適合コネクタ: RJ-45 コネクタ 適合ケーブル: UTP Cat5e ケーブル以上 最大伝送距離: 100m</p> <p>(3) 入力電源 DC100V (DC 電源アダプタ)</p> <p>3-9-5 監視・制御・計測等点数 IP-IG子局の監視制御等項目は、別添資料1に示す。</p> <p>3-9-6 接点伝送装置 接点伝送装置の仕様は、次のとおりとする。</p> <p>(1) ネットワーク</p> <p>①コネクタ形状 : RJ-45 ②LANインターフェース : LAN: 10/100BASE-TX ③ネットワーク : TCP/IP ④アプリケーション : Socket (初期設定用 TELNET, FTP)</p> <p>(2) RS-232C</p> <p>①コネクタ形状 : D-Sub 9pin ㄱ ②通信仕様</p> <p>同期方式 : 全二重・調歩同期式 データビット長 : 7bit, 8bit パリティビット : 奇数, 偶数 なし ストップビット長 : 1bit, 2bit フロー制御 : H/W(RS/CS) なし データ伝送速度 : 1200~115200bps</p> <p>(3) 入出力接点 : フォトカプラ絶縁入力・出力 32点 DC12/24V</p> <p>(4) 電源電圧 : AC100V 50/60Hz</p> <p>3-10 VDF工事 VDF工事は、設計図による他以下のとおりとする。尚、既設VDFに端子台が増設可能な箇所は取付を行い、増設ができない箇所はVDFを新規に追加して端子台を取付するものとする。</p> <p>(1) 境TN (主) VDF数量</p>	<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>IP通信に使用している回線の時系列に変動する回線雑音に対し、通信エラーによる通信断の発生を最小化するものとする。</p> <p>(c) 回線雑音自動回復機能 IP通信に使用している回線の回線雑音が回復した後、自動的に出力設定を戻す機能を有する。</p> </div> <p>3-9-4 光コンバータ 光コンバータの仕様は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 光ポート 準拠規格: IEEE802.3u 100BASE-FX 伝送速度: 100Mbps 伝送方式: 全二重方式 適合コネクタ: SC コネクタ 伝送距離: 40km 程度</p> <p>(2) メタルポート 準拠規格: IEEE802.3u 100BASE-TX 伝送速度: 伝送速度: 100Mbps 伝送方式: 全二重方式 適合コネクタ: RJ-45 コネクタ 適合ケーブル: UTP Cat5e ケーブル以上 最大伝送距離: 100m</p> <p>(3) 入力電源 DC100V (DC 電源アダプタ)</p> <p>3-9-5 監視・制御・計測等点数 IP-IG子局の監視制御等項目は、別添資料1に示す。</p> <p>3-9-6 接点伝送装置 接点伝送装置の仕様は、次のとおりとする。</p> <p>(1) ネットワーク</p> <p>①コネクタ形状 : RJ-45 ②LANインターフェース : LAN: 10/100BASE-TX ③ネットワーク : TCP/IP ④アプリケーション : Socket (初期設定用 TELNET, FTP)</p> <p>(2) RS-232C</p> <p>①コネクタ形状 : D-Sub 9pin ㄱ ②通信仕様</p> <p>同期方式 : 全二重・調歩同期式 データビット長 : 7bit, 8bit パリティビット : 奇数, 偶数 なし ストップビット長 : 1bit, 2bit フロー制御 : H/W(RS/CS) なし</p>	<p>修正</p>